

■ 河川改修工事において、建設ICT機械の活用方法や留意点等を学びました。



建設業の技術者を対象に、建設ICTを活用した河川工事現場での現地研修を行いました。近年多発する台風や豪雨に対応するための河川施設において、建設ICT機械の体験や見学を行い、その活用方法や留意点等を学びました。

- 1 日時 平成30年12月4日（火）
- 2 場所 揖斐川西小島護岸工事
犀川遊水地 天王川分水路整備工事
- 3 対象者 岐阜県内の土木・建設関連会社の社員（現場代理人等）
（※岐阜県内の県及び市町村等の技術職員を対象とした技術研修も同時開催）
- 4 参加者 10社15名（建設企業の社員）

5 内容

時間	研修内容	講師
13:00～	受付	
13:00～14:00	移動（貸切バス）	
14:00～14:45	揖斐川西小島護岸工事 現地研修 ・揖斐川河川改修の概要について ・ICT建設機械の活用について	国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 工務課：今津 建設監督監
14:45～15:30	移動(休憩:道の駅 クレール平田)	
15:30～16:15	犀川遊水地 天王川分水路整備工事 現地研修 ・犀川遊水地事業の概要について ・景観に配慮した整備内容について	国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 工務課：近藤 設計係長
16:15～16:30	移動(貸切りバス)	
16:30	解散	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 2ユニット（認定講習）

8 研修状況

(1) 揖斐川西小島護岸工事



講師
中部地方整備局 木曾川下流河川事務所
工務課 今津建設監督監 (右側)



講師
高田建設株式会社 監理技術者 山中氏 (右側)
高田建設株式会社 現場代理人 山田氏 (左側)



実際に建設ICT機械に乗車し、建設ICT機械による盛土の締固めの管理方法等を学びました。



実際の盛土工に使用する“MGブルドーザ”に乗車体験し、モニター画面に表示される施工情報の確認しました。

(2) 犀川遊水地 天王川分水路整備工事



講師
国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
工務課：近藤 設計係長



墨俣城一夜城天守閣から犀川遊水地事業 天王川分水路工事の状況を見学しました。



天王川分水路の整備にあたっては、隣接する墨俣一夜城との景観に配慮しながら進められています。



受注会社 矢作建設工業より天王川分水路工事の概要説明と本工事現場で採用されたCIMに関する説明を受けました。

9 受講者の感想

- ・現場を生で見る講習は少ないので、良かったと思う。
- ・他現場を見学する機会は少ないので、参考になった。
- ・実際にMGの建設機械を見ることや乗ることができて良かった。
- ・ICT施工の活用による作業効率の向上を把握することができた。
- ・他の現場での建設ICT活用実態が見れて良かった。
- ・ICT機械を実際に動かしているオペレーターの意見が聞きたい。
- ・ICT技術が想像していたものとは違っていた
- ・普段関わることのない河川工事での現場研修のためとても勉強になった。
- ・犀川遊水地事業ではその河川の歴史等も交えながら色々な話が聞けて良かった。
- ・墨俣の現場は完成が楽しみです。川の中のお城でYouTube等でPRすれば集客出来ると思う。
- ・矢作建設工業さんの現場は素晴らしかった。
- ・天王川分水路工事で河川でPAN WALL工法が採用されているのは驚いた。
- ・現場見学は工程のタイミングが合わないと良い見学会にはならないし、天候にも左右されるため難しい。

以上